

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成24年度 第1回 川西市青少年センター運営委員会		
事務局 (担当課)		教育振興部 青少年センター 内線(4500)		
開催日時		平成24年6月29日(金)10:00~11:40		
開催場所		教育支援室 研修室		
出席者	委員	益満良一、大矢根秀明、米田公子、田中利彦、中田鞆子、 中井成郷、澁野敏彦、田村嘉規、浦東健次、屋島哲也、 泉 廣治		
	事務局	松田康宏、上中敏昭、大谷啓史、中井裕子		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部可	傍聴者数	1 人
傍聴の不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		開会 1. 運営委員の委嘱について 2. 会長あいさつ 3. 協議事項 (1)平成24年度 川西市青少年センター事業 (2)平成24年度 夏季特別補導強化期間実施要領 川西市歳末青少年補導活動実施要領 4. その他 閉会		
会議結果		協議事項は(案)どおり了承		

1、運営委員の委嘱

運営委員会の冒頭に就任された委員に運営委員会会長の 益満 良一教育長から委嘱辞令が交付された。

2、会長あいさつ

大変ご多用の中、第1回青少年センター運営委員会にお集まりいただきありがとうございます。平素より青少年の健全育成並びに非行防止に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

小・中学校におきましては、1学期の仕上げの大切な時期であり、学校では、教師が一丸となって取り組んでいます。又、地域や保護者の皆様には多大なご支援をいただき感謝しております。

市議会、自治会長会議などでのテーマが現在の社会を反映しているように思いました。その中で、教育関係におきましては、通学路の安全問題、脱法ハーブ等々、課題が多くありますが、まずは児童生徒の安全確保を図ることが大切と考えています。そして青少年の健全育成を願って学校、教育委員会、地域が一体となり取り組んでいきたいと思えます。川西市においては、ここ数年地域で子どもを育てることや幼・小・中学校の連携がとれているように思えます。

本日の第1回運営委員会が実り多い協議になることを期待しております。委員の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

3、協議事項

<事務局説明>

(1)平成24年度 川西市青少年センター事業

児童生徒の安全確保

家庭教育の重要性(支援指導)

問題行動の低年齢化・広域化

情報モラルの推進

【質疑応答】

(会長)

協議事項(1)事務局より説明がありましたが、質問及び意見をお伺いします。

(委員)

青色回転灯装備車による巡回パトロールについてですが、どのような形で巡回をしているのか。

(事務局)

下校時は毎日、通学路を中心に巡回を実施している。又、今年度より毎月第3週を「登校巡回週間」としパトロールを行っている。

(委員)

不審者対応訓練などなぜ全学校園で実施されないのか。

(事務局)

年度当初に、各学校園には案内をし、積極的に実施していただけるようお願いしている。しかし、学校行事等との調整もあるのでそれぞれの学校園の実情に合わせて計画され実施している

。

(委員)

不審者対応訓練は非常に重要であると思う。継続的な実施を願いたい。

(事務局)

協力機関である警察との調整と連携も大切なので、今後も引き続き検討していきたい。

(委員)

量販店等との問題行動防止会議は年に1回されていると伺ったが、時期的にはいつ頃されているのか。

(事務局)

6月中旬に開催した。夏休み前に学校、地域、量販店等との情報交換を行うことで、協力と連携が図れるように開催している。

(委員)

補導委員会も参加した。日頃からも地域の巡回補導の際には、コンビニなどに立ち寄り、店舗の方と情報交流を行い、連携をとっている。

(委員)

夏休み前には、各中学校区で地区懇談会が始まり、様々な情報交換の場になると思われる。青少年センターは出席されているのか。

(事務局)

出席はしていないが、各学校の生徒指導担当教諭と定期的な連絡会を持っている。又、補導委員会からも地域の情報をいただいている。

(委員)

補導委員とPTAと一緒に地域をパトロールしたことがあった。補導活動にPTAがアクションを起こすことが地域の活性化、強いては子どもが安全に安心できる地域づくりに繋がるのではないかと考える。

(委員)

補導委員会は、地域の防犯支部とも連携しパトロールを考えている。

(委員)

平成24年度の不審者対応訓練実施校は9校である。不審者対応訓練は教師向け、こども防犯教室は児童向けで行われている。隔年で実施されている状況である。こども防犯教室は小学校低学年向けには、少々難しいように思う。

(委員)

不審者対応訓練については、実際に子どもたちがいる中で行った方が臨場感があってよいのではないか。

(委員)

そのように実施した方が良いと思うが、年間授業時数の問題があり実際には非難訓練3回(地震・火災・暴風雨、引き渡し訓練)実施している。不審者対応訓練は教師のみで隔年に実施されている。

(委員)

保育所では、実際に子どもがいる中で実施している。

(委員)

新しい学習システムの関係で授業時数が増えていることもあり、時間の確保が難しいと思われる。

(事務局)

ご意見を参考に検討していきたいと思う。

(会長)

それについては次回の運営委員会にて事務局から報告をしてほしい。

(委員)

昨今、地区懇談会でインターネット・ケータイについての問題が議論される。実態としては、懇談会に参加される保護者は協力的であるが、本当は参加されない方に聞いて欲しいと思う。今、子どもたちは大半がケータイを所持している。又、ケータイによるトラブルも多く聞かれる。地区懇談会には保護司も参加している。

(委員)

インターネット・ケータイのアンケート調査結果を見てわかるようにケータイを持つきっかけが「友だちが持っているから」という理由で保護者に買わせることが多く、保護者は「安全・連絡がいつでもとれる」という思いで持たせている。しかし、持たせた後のフォローがなすすぎて、学校の指導が中心になってしまう。ケータイを巡っては三者(本人、保護者、学校)がもう一度考えなおさなければならない時期がきている。

<事務局説明>

(2)平成24年度 夏季特別補導強化期間実施要項

川西市歳末青少年補導活動実施要領

(委員)

夏季特別補導強化期間実施要領の実施事項に「公園や遊び場の点検」とあるが、公園には死角が多く、特に夏の公園の死角は不審者等危険な場所になるので巡回の強化を願いたい

(会長)

公園の死角については、担当所管とも連携していただきたいと思う。

(委員)

補導委員会においても公園等の巡回を強化していきたい。

(委員)

夏休みには、子どもたちが地域で生活することが多くなるので、迷惑をかけるのではないかと心配している。学校としては、夏休み前に非行防止教室を実施し夏休みの過ごし方について指導するとともに関係団体、地域との繋がりを大切に、子どもの見守りをしていきたい。

(委員)

子どもたちは地域で育つと考えているが、地域においても多くの声かけをしていきたいと思う。

(会長)

地域の力を借りなければ子どもたちは育たないと考えている。しかし、地域力が減少している状況があると言われている中で厳しいと思うが、情報共有し連携をしていくことが何より力となると

考える。

(委員)

学校で出来る限界が多くなってきている。小学校で出来ること、中学校で出来ること、小中学校連携で重なる部分を考え、小学校1年生から中学校3年生の9年間を考える。その中に幼稚園も含めて幼小中学校の連携と地域の重要な役割が課題となる。それぞれの立場で出来る限りのことをやっていくことが無理なく出来ると思う。

(委員)

人間関係の希薄化、無関心、地域で繋がりを持たないなど難しいこともあるが、関心を持ってもらえるようなことを考えていかなければならない。

(会長)

もう一度、子どもを取り巻く全ての関係機関が大きな視点で議論すべき時期がきている。

(委員)

今までの学校、家庭、地域の横並びの繋がりではなく、地域も含めて同心円状に広がりを持っていくような繋がりや支えが必要である。

4、その他

次回は平成25年3月中旬開催予定

閉会